

猪谷関所館のご案内

館内は5つのテーマ展示と
企画展示コーナーがあります。

- 「祈りを彫る 円空仏」
- 円空仏展示
- 「飛騨街道と神通峡」
景観立体模型
- 「人、ものが行き交う 西猪谷関所」
西猪谷関所ジオラマ
- 「川を渡る 籠渡し」
籠渡し体験コーナー
- 「荷馬車から鉄道へ 猪谷駅」
映像コーナー

企画展示コーナー
関所、飛騨街道、神通峡、円空仏など、
飛越往来に関する事からを紹介しています。

学習プラン
展示をより深く理解してもらうために、
解説を行います。色々な学習の要望にも
お応えします。(事前の申し込み必要)
(※小学3年生社会科「富山市の様子」
校外学習モデルコースに選定)



富山市 猪谷関所館

富山市教育委員会

富山市猪谷関所館

〒939-2187 富山県富山市猪谷978-4
TEL 076(484)1007 FAX 076(484)1845

利用のご案内

開館時間：午前9時～午後5時（入館は午後4時半まで）
休館日：月曜日（祝休日を除く）、祝休日の翌日、
12/28～1/4
入館料：一般150円、団体20名以上120円、
高校生以下無料

交通のご案内

【JR高山本線】
富山駅から約45分
猪谷駅下車（特急停車）徒歩約1分
【バス】
富山駅から約50分（普通）
猪谷下車 徒歩約3分
【自動車】
富山から25km・高山から50km
北陸自動車道富山ICから約40分



西猪谷関所

越中国（富山県）と飛騨国（岐阜県）を結ぶ飛騨街道は、古くから人々や荷物が行き交う重要な交通路でした。国境を監視する番所は早くから置かれ、江戸時代には富山藩が神通川の左岸に西猪谷関所、対岸には加賀藩が東猪谷関所を置きました。

西猪谷関所は橋本家と吉村家が代々関所番人を勤めました。両家は関所廃止まで、通行人の監視や出入りする米、塩、魚、木材などに口役銭（税金）を課す役目を受け継ぎ、藩の財政に貢献しました。



祈

りを彫る
円空仏

円空は美濃国に生まれ、東日本を旅しながら、多くの仏像や神像を彫り残した修験僧です。丸太を鉋で割る荒々しい作品には、独自の宗教性と芸術性が感じられます。

細入地域には二十四体が見つかっています。



飛

騨街道と
神通峡

江戸末期の神通峡の景観立体模型は、川に沿って道が開け、人々と荷物が往来した飛騨街道と、谷筋の村々の様子を再現しています。



人

ものが行き交う
西猪谷関所

古来からの国（藩）も隣接する国との出入りを厳しく監視しました。そこは、関所や番所と呼ばれ、そこを通るには、「過書」や「往来手形」などが必要とされ厳しく取り締まられてきました。



川

を渡る籠渡し
かごのわた

籠渡しは、渓谷や急流をはさんだ断崖を渡る手段とされてきました。国境警備のため橋を架けることが許されず、籠渡しが使われていました。

蟹寺村と谷村の間の宮川に架かる籠渡しは、飛騨街道の難所として知られていました。「斐太後風土記」によれば、川幅十四間四尺（約26m）ありました。



荷

馬車から鉄道へ
猪谷駅

明治時代に入り関所は廃止され、神岡鉾山の繁栄に伴い人や荷物の輸送は荷馬車から馬車軌道となり、機関車へと変遷しました。日本海側と太平洋側を結ぶ高山本線が開通すると、猪谷駅は物流の拠点として日本の近代産業を支える役割を担ってきました。

